

校長室から SEASON1 NO.1 R7.4.7

このたび18代校長を拝命しました若浦直樹です。令和6年度は副校長をさせていただき、創立100周年という記念すべき年を経験させていただきました。

私自身、諏訪山小学校(こうべ小学校の前身)、生田中学校(神戸生田中学校の前身)出身ということもあり、神港学園高校をとても身近に感じてきました。懐かしく感じると同時に、生まれ育った地域での教育活動ができるこことを嬉しく思っています。さらに101年目のスタートを飾る年に校長となったことで良い緊張感を持ち続け、神港学園高校の発展に寄与できるよう頑張って参りたいと思います。

さて、この校長便り「校長室から」では、生徒の頑張りや学校教育活動をお知らせするとともに、現在の教育課題やその克服に向けた取り組みなどを紹介し、生徒、保護者の皆様、地域の皆様をはじめ卒業生、学校関係者の方々とその情報共有を図り、学校生活をよりよくしていくことを狙って年間50号以上を発行したいと考えています。写真や新聞等、広報誌の紹介を含めて、ご理解ご協力をお願いします。

令和7年度は阪神淡路大震災から30年という節目の年でもあります。時代の流れとともに震災での経験を語り継ぐことが難しくなってきました。しかしながら災害の多い日本では、先日の各地で起きた山火事や毎年起ころう豪雨災害など、数年に一度の大きな地震災害だけでなく、いろいろな災害に対応していかねばなりません。防災への意識を高めることはもちろん、協力体制、連携方法など今一度の確認が必要となってきます。神港学園高校として募金等への積極的な参加はもちろん、防災意識向上に向けた発信や取り組みも進めていければと考えています。生徒向けに言えば、登下校中のちょっとした景色の変化や雨の日の側溝の様子など、特別なことをしなくても観察する習慣を身につけるだけでも意識は向上します。スマホばかり見るのではなく、そういう変化に気づき楽しめるようになってほしいと思います。先生方におかれましても、日頃のそういう言葉がけや話しぶりが生徒に伝わることも多いので、日常的な話題として生徒が日頃意識しなければならないようなことは繰り返し話をさせていただきますと、無意識の中で習慣化され防災意識の向上につながると思いますのでよろしくお願ひします。さらに生徒指導の場面においても、なぜそういうないといけないのかという話を各学年で繰り返していただきますと生徒たちの勝手な判断で服装を変形させたり、頭髪を変化させたり、化粧をしたりということも減ってくるのではないかでしょうか。近隣からの苦情等がないように、地域からも応援される学校になることで、教育活動の幅は広がるはずです。神港学園を発展させるために皆さんのお協力をよろしくお願いします。

春季休業中に柔道、空手の全国高校選抜大会、各種目県大会地区予選や記録会など多くの大会が行われました。柔道部は66kg級で藤村選手がベスト8に入りましたが、無差別級平選手は2回戦81kg級の千葉選手は1回戦敗退と悔しい結果に終わったようです。団体も含めて県総体に続く全国高校総体に向け、気持ちを切り替えて頑張ってほしいと思います。空手道部は女子団体組手・形とともにベスト16、個人も入賞には届かず悔しい結果となりました。県総体に向け今一度しっかりと課題を見つめ、持てる力を発揮して栄冠をつかんではほしいです。また梶野選手、丸山選手は4月12日から行われる東アジア空手道選手権大会の日本代表選手として選考されました。この度の結果を踏まえ、海外でも持てる力を発揮してほしいと思います。

野球は春季高校野球地区大会が行われました。3月30日には神港橘高校と対戦。初回ノーヒットで2点を



先制したものの寺田投手がタイミングを合わされ4連打で同点に追いつかれ、どうなるかと思われましたが、毎回得点を重ね13点をもぎ取り、5

回コールドゲームとなり初戦を突破。4月3日の代表決定戦は会議のため応援には行けなかったのですが、7回コールドで須磨友が丘高校を7-0で下したとの報告が入りました。甲子園を目指す意味においても春季県大会での活躍に期待したいと思います。



続いては新入生に関わる行事です。3月26日には登校日があり、手続き等の確認及び制服等の最終

申し込みをしていただきました。4月4日には教科書・副教材の引き換え及び個人写真撮影と入学式予行を行い、8日の入学式に向けた準備を整えました。いよいよ3学年での創立101年目のスタートとなります。4月は気持ちも新たにまた、3年生は部活動では最後の総体及び選手権大会に向けて悔いの残らないように気持ちも体も仕上げていかねばなりません。さらに進路実現に向けた自分の将来を考える時間も必要となります。しっかりと考え、成年になるものとして責任感を持って行動できるようになってください。2年生は中間学年として学校を引っ張る中心的な学年です。中だるみをせず神港学園生としての自覚ある行動をお願いします。

校門横の桜も満開となりました。市内の至る所でとても華やいだ新学期のスタートにふさわしい景色です。入学式まで咲き続けてくれるか微妙なところですが、今の清々しい気持ちを忘れることなく今年度を過ごしていけるよう頑張っていきましょう。

どうぞよろしくお願ひいたします。

